

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17108001	非病原力遺伝子のサプレッサー活性発現機構の解明と植物病害防除への応用	露無 慎二（静岡大学・創造科学技術大学院・教授）	A
<p>カンキツかいよう病菌を主な対象として、サプレッサー活性を有する非病原力遺伝子である <b>Apl1</b> と結合する因子の解明は順調で、ペクチンメチルエステラーゼ (<b>PME</b>) や、さらに抵抗性反応に関わるとされる <b>RIN4</b> タンパク質とも結合することを明らかにしている。また、カンキツでのかいよう形成にテロメラーズの活性上昇が見られることなども解明しつつある。</p> <p>以上のように、当該分野においては重要な貢献が見られるが、今後さらに研究者間の連携を強めること、そして本研究の最終目標としてのサプレッサー抑制による病原菌耐性植物の作出もしくはその作出戦略の構築に向けては、なお努力が求められる。</p>			